

## 日本万引防止システム協会

### 端末機器の基準認証に関するガイドラインセミナー

日本万引防止システム協会（JEAS）技術基準委員会は、9月6日（金）に「電気通信事業法に基づく端末機器の基準認証に関するガイドラインセミナー」を開催した。当日は約30名が参加し、熱心に聞き入った。

今年4月22日に公表された「電気通信事業法に基づく端末機器の基準認証に関するガイドライン（第1版）」に基づき、IOT機器のセキュリティ

対策に関する技術基準の改正に関するもの。近年、急速に普及しているIOT機器など、ネットワークに直接接続するとのある機器についてのセミナーを開催した。

セミナー基準に係る技術適合認定や、電波を使用する端末機器に係る技術適合認定等について総務省担当者が解説した。

冒頭、JEAS会長の稻本義範氏が「当協会は電子商品監視機器（EA-S機器）と防犯カメラ分野の唯一の工業業界です。今後、顔認証などを用いた犯罪防止システムを共同で立ち上げたもので、激しく競合する書店が、防犯については協力して取り組んでいます。」のように、顔認証にどこが悪いかを切り分けしなければならないはひんこんがつっていく

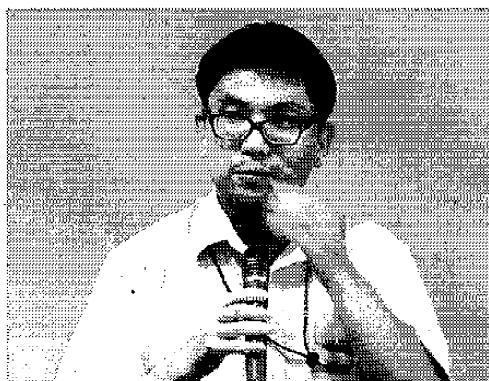
で、卓越した技術が要求されるようになります。稻本義範氏が「最近『渋谷プロジェクト』がスタートしました。」と挨拶した。

今日（11月）得られた情報は、皆さんから会社全体に共有していただき、来年4月の施行に備えてください」と挨拶しました。

### 稻本会長「情報を共有し施行に備えて欲しい」



JEAS 稲本会長



総務省松浦信宏氏



総務省阿部弘明氏

でしょ。そのため、つながる端末機器の基準認証をしっかりとやらないといけません。」と社が何かトラブルを起こすと、全体に迷惑をかけます。

今日は、(11月)得られた情報は、皆さんから会社全体に共有していただき、来年4月の施行に備えてください」と挨拶しました。

続いて、総務省電気通信技術システム課設備係長松浦信宏氏が「我が国における電気通信端末機器の基準認証制度」として、端末設備の接続の技術基準、端末機器の審査制度、技術基準適合表示、端末機器の市場調査などについて解説しました。さらに、総務省電気通信技術システム課企画係阿部弘明氏が「IOT機器のセキュリティ対策に関する技術基準の改正について」と題し、技術基準の検討の経緯や技術基準の改正の概要を説明した。